

### Ⅲ 令和6年度の学校経営方針

#### 重点目標

《重点目標》 ← 教職員の重点であり、生徒の重点でもある(共有する)  
**伸ばそう主体性、はぐくもう豊かな心(共感と社会性)**

#### 【重点目標の設定にあたって】

本校では、生徒に育てたい資質・能力を令和3年度は「主体性」「相互理解」「メタ認知能力」、令和4・5年度は「主体性」「やり抜く力」とし、全教育活動において、「目標」の立て方を意識させたり、「振り返り」を位置付けたりするなど、教職員と生徒が目標を共有し協働することを通して実現を目指してきました。手立ての基本的な考え方については、令和6年度も変わりません。

学校評価結果等を概観すると、学校教育活動全般において生徒の頑張りが認められ、保護者や教師の評価からも、生徒が落ち着いた学校生活を送っているとうかがうことができました。

なかでも、生徒の自己評価において、評価項目12項目中4項目(進路指導の場・基本的生活習慣・相談相手・ICT活用)のプラス評価が100%になったことは、学校生活における頑張り度や充実度を示すものにとらえています。

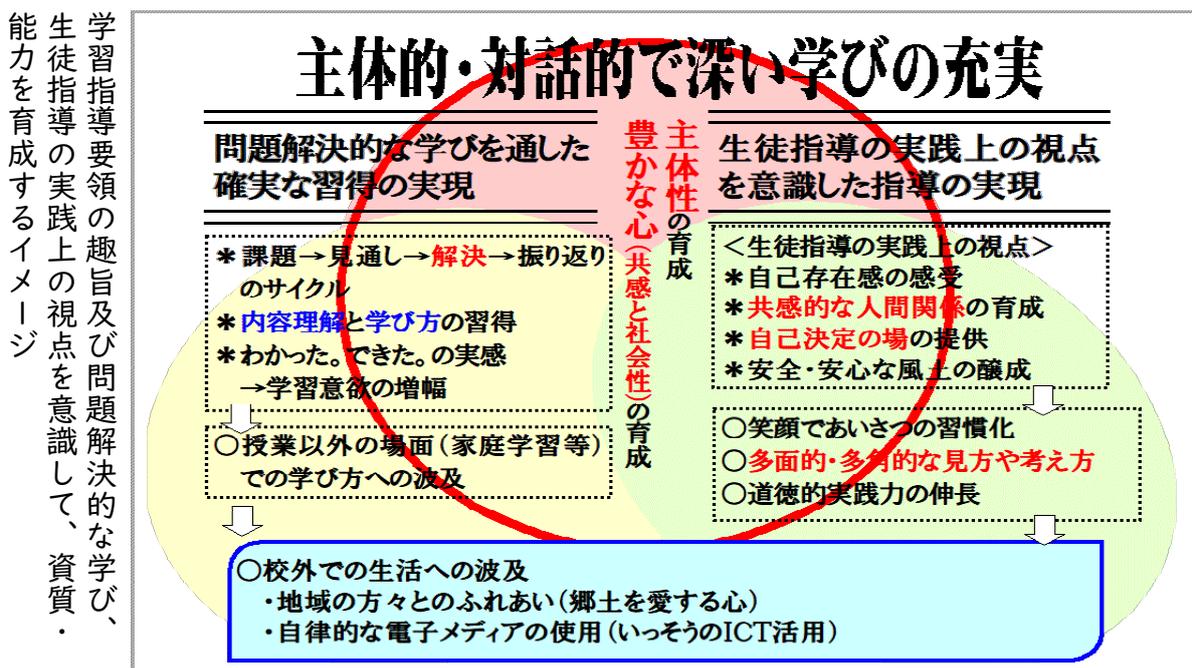
一方、人間関係に積年の軋轢が表面化した生徒指導上の事例が散見され、現在も経過観察中及び指導中にあることも事実です。自分の考え方や感じ方にとらわれ、相手を尊重しきれないことに起因するこういった事例は、社会生活を営む学校・学級においては、今後も起こり得るものと懸念されます。一人一人の主体性を重んじることに関心が向きすぎると、それと相反して他の個性を受け入れるという「豊かな心(共感と社会性)」が未成熟となってしまうがちです。

そこで、令和5年度の成果の上に立ちつつ、生徒に育てたい資質・能力を「主体性」と「豊かな心(共感と社会性)」とします。

そのために私たちは、学習指導要領の趣旨、カリキュラム・マネジメントの考え方に基づき、生徒自身が自分の目標を強くイメージして諸活動に取り組むとともに「豊かな心(共感と社会性)」を育む取組を全教育活動に取り入れることを強く意識する必要があると考えます。

全教育活動において、「目標」を意識させて活動させたり、自分を客観視して「振り返り」を行わせたりする過程は、これまでと変わらず留意します。併せて、教職員は、改訂された生徒指導提要に示されている生徒指導の実践上の視点を常に意識した働きかけを行うことにも留意します。(下図「重点目標実現のイメージ」参照)

#### 重点目標実現のイメージ ～各教科・領域を貫く横断的な指導～



## 推進の柱

- (1) 創意ある「教育課程」の編成・実施, 評価・改善 (カリキュラム・マネジメント)
  - ① 学習指導要領の趣旨を踏まえた創意ある教育課程の編成・実施・評価・改善
    - 生徒数減少に伴う諸活動の見直しの継続
    - 小中連携及び関連性・系統性を視点とした諸活動の見直し (令和10年度義務教育学校開校)
- (2) 一人一人の居場所となる「学年・学級経営」の推進
  - ① 生徒理解と保護者との密接な連携を基盤とする学級経営の推進
  - ② 夢や目標を育むガイダンス機能や教育相談の充実
- (3) 「わかった。できた。」が実感できる「学びづくり」の推進
  - ① 学校図書館の整備
  - ② 言語環境の充実と配慮 (生徒の発表や生徒同士・教師の言葉)。
  - ③ 落ち着いた機能的な教室 (及び校内) 環境の整備

『整備充実期』と位置付け、来館者数増・貸出数増を実現する学校図書館環境の整備を。

「機能的」は、「時宜を得た指導意図のある掲示物」という意味。

## 指導の工夫・配慮

- (1) 学ぶ意欲を高め、確かな学力を育む「学習指導」の充実
  - ① 問題解決的な学習過程 (愛別風学習過程スタンダード) の確実な実施
  - ② 一人一台端末の効果的な活用と活用研修の充実
  - ③ 多面的・多角的, 簡便に継続可能な評価の工夫
  - ④ TTや少人数の機能を活かしたきめ細かな指導 (習熟度別指導) と評価の充実
  - ⑤ 2週間単位の時間割作成の継続と端末持ち帰りを生かした授業以外での学習支援
- (2) 特別の教科「道徳」を要とする「道徳教育」の充実 (道徳的実践力の育成)
  - ① 学校の指導の重点を明確にした全体計画や年間指導計画の改善
  - ② 多面的・多角的, 簡便に継続可能な評価の工夫
- (3) 実践的な態度を育む「特別活動」の充実
  - ① 家庭や地域社会との連携を図った全体計画や年間指導計画の見直し
  - ② 求める資質・能力を共有した上での自然体験や社会体験の見直し
- (4) 学び方や考え方を身につけ、探求する力を育む「総合的な学習の時間」の充実
  - ① 育てたい資質・能力を明確にした目標の設定及び全体計画の見直し
  - ② 目標の実現状況を見取る評価の在り方の改善
- (5) 望ましい勤労観や職業観を育む「キャリア教育・進路指導」の充実
  - ① 発達段階をふまえたキャリア教育及び各教科等と関連させた横断的な進路全体計画や年間指導計画の改善
  - ② キャリアノートの活用による生徒の資質・能力の育ちの見取りと学年間や校種間での適切な引継
- (6) 健やかな心身を育む「健康・安全教育」の充実
  - ① 学校保健計画・学校安全計画に基づく指導の充実
  - ② 各教科等と関連させた横断的な「防災を含む安全教育」の充実
- (7) 一人一人の教育的ニーズをとらえ、成長を支える「特別支援教育」の充実
  - ① 合理的配慮を基盤とした全校的な支援体制の継続
  - ② コーディネーターを窓口とした保護者や学校間及び関係機関との連携

「効果的」は、対話的・協働的学習をはじめ、iPadの活用を工夫し続けることを指す。

単なる規模縮小ではない視点が重要

各教科等での指導内容を配置した「防災を含む安全教育」の実施・改善

### <全教育活動における留意事項>

- ◎ 生徒指導提要(改訂版)の理解と生徒指導の実践上の視点(①~④)を常に意識した指導の充実。
  - \* 生徒指導提要(改訂版)の趣旨と要点についての研修の実施。
- ① 自己存在感の感受                      ② 共感的な人間関係の育成
- ③ 自己決定の場の提供                      ④ 安全・安心な土壌の醸成
- ◎ 問題解決的に活動を計画し, 2つの視点での「振り返り」を意識する。
  - \* 「問題把握→見直し→解決→振り返り」のサイクルの意識化
  - \* 「問題解決ができたか」(成果指標)と「自分の取組はどうだったか」(取組指標)
- ◎ 生徒の主体的な活動場面を保障する。
  - \* 生徒主体の問題解決的な授業づくりやICT活用に係る「教師の資質・能力向上のための研修」に特化します。今年度も「仮説検証型の校内研究(研究主題・研究仮説を設定し研究授業を通して仮説を検証する教育研究)」は行いません。しかし、いっそう実践的な研修とするため一人1実践公開による相互授業研を行います。
  - \* 豊かな心(共感と社会性)を育む要諦を「協働的な学びの場の充実」とおさえます。あらゆる協働的な学びの場(話し合い活動, 小集団作業等)において, 多面的・多角的な見方や考え方を促すことによって, 他の方の見方や考え方に触れ, それを共感的に理解することを数多く経験し, 「豊かな心(共感と社会性)」が育ちます。「協働的な学びの場」を共感から深まる他者理解と自己決定の場とおさえ, 道徳教育のみならず全教育活動を通して設定することを令和6年度の具体的な取組とします。